

進捗レポート

前へ < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#)
[16](#) [17](#) > 次へ

[RSS](#) [RSSの解説へ](#)
[コメントの投稿方法の解説へ](#)

(写真をクリックすると拡大画像が別ウィンドウで表示されます。)



現場状況、鉄骨建方

2006年12月27日

発信者: れい

1スパン分の鉄骨が組上がってきました。
敷地の大きさの制約から、小回りが効き、吊上げ能力の大きなラフタークレーン(奥に見える青と白の重機)で鉄骨を吊上げています。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



鉄筋加工場

2006年12月27日

発信者: れい

現場に入ってくる鉄筋を曲げたり切断する加工場です。
様々な種類の径や材質の鉄筋が一時的にストックされています。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



高力ボルト軸力試験

2006年12月27日

発信者: れい

鉄骨の接合部に使用されるトルシア形高力ボルトが現場に搬入されました。
ボルトが設計仕様に適合したものであるかを確認し、所定の軸力をもつものかどうかを抜き取りで試験を行います。
ボルトは一次締め、マーキング、本締めの順で二段階にわけて締付けます。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



鉄骨建方開始

2006年12月25日

発信者: れい

鉄骨が現場に運ばれてきました。年内に1スパン分の柱、梁を組上げます。
まず一本目の柱を設置しており、いよいよ建物の形が見え始めてきました。

[コメント\(0\)](#) [トラックバック\(0\)](#)



鉄骨工場製品検査(第2回)

2006年12月21日

発信者: れい

鉄骨工場製品検査の第2回です。
現場の工程をスムーズにするために、鉄骨製作を何段階かに分け、それぞれに工場にて検査を行います。
写真は、鉄骨の材質が適切かどうかを調べているところです。

[コメント\(0\)](#) [トラックバック\(0\)](#)



現場状況、1階床下断熱材敷込み

2006年12月14日

発信者: れい

埋め戻しも終わり、1階の床下には、砂利を敷いて、捨てコンを打ち、湿気対策として防湿フィルムを敷き、地面の熱が直接建物内に伝わらないように、その上に断熱材を敷いていきます。
この後、1階の床配筋をし、型枠設置後、コンクリートの打設となります。

[コメント\(0\)](#) [トラックバック\(0\)](#)



鉄骨工場製品検査(第1回)

2006年12月11日

発信者: れい

製品検査は、工場で完成した鉄骨部材を現場に搬出する前に、設計図書で要求される品質が確保できているかどうかを検査するものです。
寸法検査, 外観検査, 溶接部非破壊検査(超音波探傷検査), 材質検査などを行なっています。

コメント(0) トラックバック(0)



オイルタンク据付

2006年12月11日

発信者: れい

オイルタンクが現場に運ばれ、地下コンクリート躯体(くたい)の中に据付られました。
この後、砂を詰め、上部にコンクリートを打設していきます。

コメント(0) トラックバック(0)

[前へ](#) < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#) [16](#) [17](#) > [次へ](#)

進捗レポート

前へ < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#)
[16](#) [17](#) > 次へ

[RSS](#) [RSSの解説へ](#)

[コメントの投稿方法の解説へ](#)

(写真をクリックすると拡大画像が別ウィンドウで表示されます。)



埋め戻し

2006年11月29日

発信者: れい

基礎コンクリートの打設が完了し、強度も確認されたので、一部、土の埋め戻し作業をしています。30cmごとに締固めながらの作業になります。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



技能五輪国際大会看板設置

2006年11月29日

発信者: れい

現場西側学園通り沿いの仮囲いに技能五輪国際大会の看板が設置されました。街行く人々に親んでもらえるよう、今後も仮囲いの表情を考えていきます。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



屋外排水設備工事材料検査

2006年11月24日

発信者: れい

排水に使用される配管の材料確認です。用途に合わせて何種類もの径の管が搬入されました。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



現場状況、基礎梁コンクリート打設前

2006年11月22日

発信者: れい

コンクリートを打設するために基礎梁の形の型枠をつくっています。
もうすぐこの型枠にコンクリートが流され、基礎が完成します。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



オイルタンク工場検査

2006年11月10日

発信者: れい

本施設は、災害時や停電時のために自家発電設備を設置しています。
そのため、オイルタンクを地下に埋設する計画としており、そのタンクに不備がないかなど、工場にて確認検査を行いました。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



鉄骨工場試作品検査

2006年11月10日

発信者: れい

原寸検査に続き、鉄骨工場に再度赴き一部の試作品を確認します。
寸法精度や溶接に問題はないかなどを確認しました。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



ピットスラブコンクリート打設

2006年10月30日

発信者: れい

いよいよコンクリートの打設です。
その前に、荷降ろし地点で受入れ検査を行います。
コンクリートの軟らかさや流動性を確認するスランブ試験を行い、さらに空気量、温度、塩化物量を確認しています。
コンクリートを圧送し、振動機(バイブレーター)を用いて締固めを十分に行います。

コメント(0) トラックバック(0)

[前へ](#) < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#) [16](#) [17](#) > [次へ](#)

nmBlog v1.2.6 distributed by [SAMN Project](#)

進捗レポート

前へ < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#)
[16](#) [17](#) > 次へ

[RSS](#) [RSSの解説へ](#)

[コメントの投稿方法の解説へ](#)

(写真をクリックすると拡大画像が別ウィンドウで表示されます。)



ピットスラブ配筋検査

2006年10月25日

発信者: れい

これからピット底のスラブ(床)にコンクリートを打つために、その中の鉄筋が適切に組まれているかを確認しました。
適切な径、本数、間隔、継手長さなどを確認しています。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



現場状況、基礎柱鉄筋

2006年10月21日

発信者: れい

基礎の鉄筋が徐々に組まれてきました。
写真の場所は、杭頭を補強する鉄筋と基礎の鉄筋、基礎柱の鉄筋、大梁の鉄筋、柱をとめるためのアンカーフレームが重なりあう、もっとも鉄筋が密な部分です。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



生コン工場、試験片4週圧縮強度試験

2006年10月17日

発信者: れい

基礎をはじめとしたコンクリートを打つ前に生コン工場にて試験片をつくり、その強度を確認します。

写真は試験片をつくってから4週間たった時の圧縮強度を調べている風景です。

コメント(0) トラックバック(0)



鉄骨工場原寸検査

2006年10月12日

発信者: れい

建物の骨である鉄骨は工場で作られ、現場に運ばれます。
そのため、鉄骨作成のための工作図の内容がすべて原寸図に表現されているかどうか、
また溶接作業や高力ボルトの締付け作業が支障なく行える納まりとなっているかなどを工
場に赴き、実際の寸法で確認します。
また工事現場と製作工場で使用する巻尺について両者の誤差が許容範囲内に納まって
いるかどうかの確認も行いました。

コメント(0) トラックバック(0)



杭芯確認

2006年10月9日

発信者: れい

掘削が終わり、杭の位置、高さを全て再確認します。
許容範囲を超える偏芯がないかなどをチェックしています。

コメント(0) トラックバック(0)

[前へ](#) < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#) [16](#) [17](#) > [次へ](#)

進捗レポート

前へ < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#)
16 [17](#) > [次へ](#)

[RSS](#) [RSSの解説へ](#)
[コメントの投稿方法の解説へ](#)

(写真をクリックすると拡大画像が別ウィンドウで表示されます。)



掘削状況

2006年9月29日

発信者: れい

杭も全て打ち終わり、基礎工事のために地面を掘っています。
基礎がくる場所、梁がくる場所と様々な高さを掘りわけています。
写真にある円筒形のものは、前回埋めた杭の頭です。

[コメント\(0\)](#) [トラックバック\(0\)](#)



試験杭設置

2006年9月4日

発信者: れい

今回地盤の状況から建物を支持するために杭を使用しています。
軟弱地盤を貫通して硬質地盤まで杭を到達しています。
その長さおよそ20メートルです。
今回は一ヶ所につき2本の杭を溶接しています。
また、支持地盤まで杭が到達したかどうかは電流計により確認しています。

[コメント\(0\)](#) [トラックバック\(0\)](#)



仮囲い設置

2006年8月10日

発信者: れい

仮囲いは工事現場を外部から隔離し、第三者災害やごみの飛散の防止、および美観維持を目的として設置します。
写真は職人さんが足場用丸鋼管を使用して下地を組んでいるところです。

コメント(0) トラックバック(0)



北京ユニバーサルデザイン会議

2006年8月4日

発信者: れい

北京理工大学設計芸術学院が主催した「第1回北京ユニバーサルデザイン国際シンポジウム」にて当施設が紹介されました(2006年8月3日～6日)。
2008年のオリンピックとパラリンピック開催に向け、世界中から多くの人々が集まることを考え、中国北京では今、ユニバーサルデザインによる都市環境と建築の整備を推進しています。
そのような背景の中で、沼津市の試みは北京でも注目されています。
沼津発、世界へ!

コメント(0) トラックバック(0)



設計説明会+第1回総合定例会議

2006年8月2日

発信者: れい

工事着手にあたり、設計者から施工者へ建物の計画意図を伝達します。
これによってどのような考え、思いで各部が設計されているかが各者共有することができます。
この日はさらに第1回総合定例会議を行いました。
定例会議とは、発注者、設計者、施工者が共有する問題を解決していくために、定期的開催する会議で、今後も定期的開催していきます。

コメント(0) トラックバック(0)

進捗レポート

前へ < [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#)
[15](#) [16](#) [17](#)

[RSS](#) [RSSの解説へ](#)
[コメントの投稿方法の解説へ](#)

(写真をクリックすると拡大画像が別ウィンドウで表示されます。)



安全祈願祭

2006年7月21日

発信者: れい

安全祈願祭(地鎮祭)は工事に先立ち、土地の神を祝って敷地を清め、工事中の安全と建築物が末永くその場所に建っていただけることを願う祭儀です。
市長が鍬入れ等を行い、無事滞りなく行われました。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



敷地境界・建物位置確認

2006年7月18日

発信者: れい

工事に着手する前に敷地境界線を確認し、建物の位置を設計図と照合し決定する必要があります。
基準となるポイントを定め、建物の各ポイントに木杭を打っていきます。

コメント(0) [トラックバック\(0\)](#)



近隣説明会

2006年7月2日

発信者: れい

第5中学校にて建設に関する説明会を行いました。
建物概要、工事概要を説明し、質疑回答をいたしました。

